

栗原の稲作通信

令和5年 第7号 令和5年7月24日発行

宮城県栗原農業改良普及センター

宮城県米づくり推進栗原地方本部

電話番号 0228-22-9404

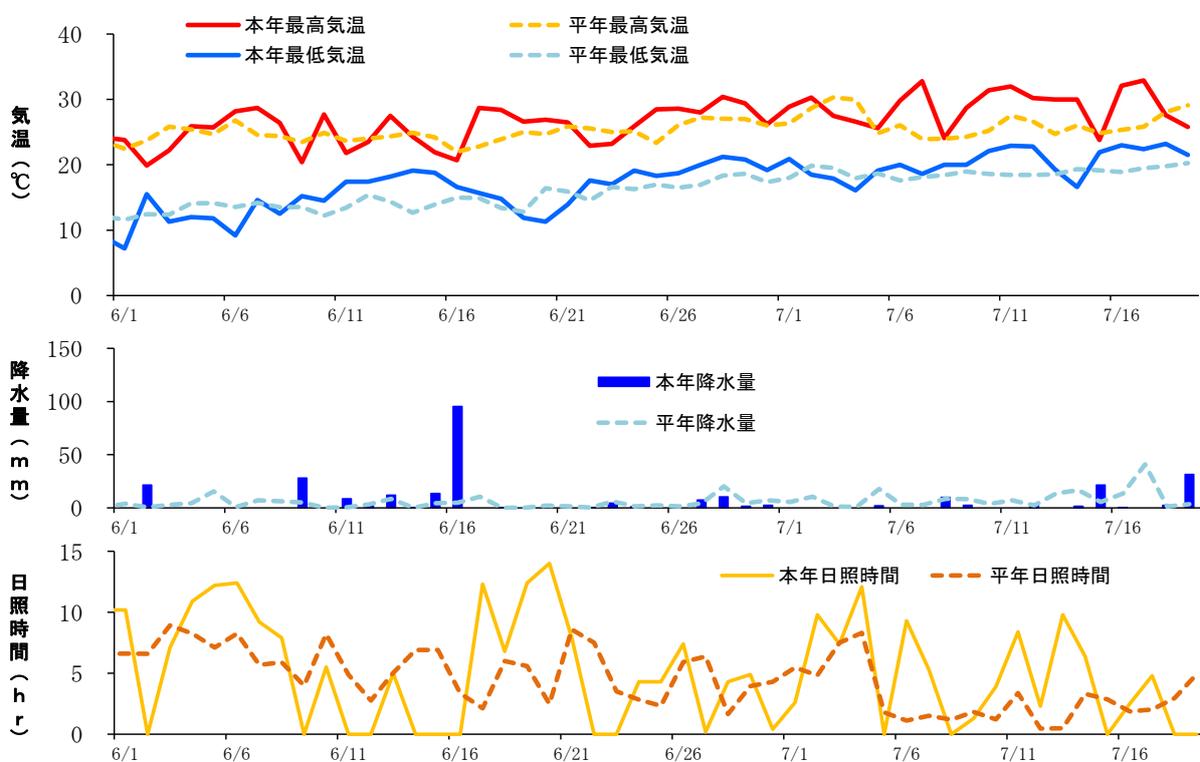
出穂期：8月2日頃と推測されます「ひとめぼれ（北部平坦部（築館））」。

穂いもち防除：予防防除のため、水面施用剤による防除を行きましょう。

草刈りは、出穂10日前以降は控えましょう。

気象経過（アメダス築館）

- 7月上旬は、平年と比較し、気温は高く、降水量、日照時間ともに少なくなりました。
- 7月中旬は、気温が高く、降水量が少なく、日照時間が多くなりました。また、7月19日から20日にかけて大雨となりました。



* 点線の平年値は過去5か年平均

東北地方1か月予報（期間：07/22~08/21）

※令和5年7月20日仙台管区气象台発表抜粋

予報のポイント

暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。特に、東北太平洋側では、期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

予想される向こう1か月の天候（東北太平洋側）

平均気温：高い見込み 低10 並20 高70%
降水量：ほぼ平年並の見込み 少30 並40 多30%
日照時間：ほぼ平年並の見込み 少30 並40 多30%

生育経過（7月20日現在）

■生育調査ほ（移植）

- ・ひとめぼれでは、草丈は平年並み、茎数は少なく、葉数は平年並み、葉色は淡く推移しています。
- ・ひとめぼれは、減数分裂期に達しています。

表1 生育調査ほ調査結果（7月20日現在）

品 種 地区	田植日	草丈(cm)			茎数(本/m)			葉数(枚)			葉色(GM値)			幼穂長(mm)		
		本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差 (枚)	平年差 (枚)	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
ひとめぼれ 築館 北部平坦	5/5	80.2	93	104	458	78	82	12.6	0.3	0.4	33.5	-6.0	-4.9	191.5	133	50
ひとめぼれ 若柳 北部平坦	5/21	74.4	93	101	535	88	86	11.5	-0.1	-0.2	32.2	-3.4	-3.8	45.7	17	16
ひとめぼれ 一迫 西部丘陵	5/12	73.7	109	-	410	111	-	12.7	0.4	-	35.8	-3.0	-	134.6	120	-
ひとめぼれ 管内平均	5/12	76.1	98	-	467	90	-	12.3	0.2	-	33.8	-4.2	-	123.9	90	-
つや姫 築館 北部平坦	5/18	73.7	106	107	485	132	107	11.1	-1.3	-0.5	35.1	-9.0	-7.5	6.2	6	4
だて正夢 築館 北部平坦	5/14	79.5	93	-	407	103	-	11.8	-0.3	-	35.2	-4.9	-	49.4	44	-
金のいぶき 一迫 北部平坦	5/5	80.4	99	-	466	111	-	12.0	-0.8	-	29.4	-7.7	-	106.8	94	-
萌えみのり 金成 北部平坦	5/8	83.3	112	110	434	97	84	11.1	-0.7	-1.0	41.5	-3.7	-3.7	152.6	146	98

注1：表中の平年比・平年差は、過去5年間の平均値を基に算出。

注2：一迫ひとめぼれ、築館だて正夢は令和2年に調査農家を変更したため、平年比・平年差はありません。

注3：一迫金のいぶきは令和3年6月20日調査から開始のため、平年比・平年差はありません。

注4：ひとめぼれ管内平均は築館、若柳、一迫3か所の平均値。

■直播展示ほ（志波姫の乾田直播ひとめぼれ）

- ・生育は概ね順調に経過しています。

表2 直播普及展示ほ調査結果（7月20日現在）

品 種 地区	播種日	草丈(cm)		茎数(本/m)		葉数(枚)		葉色(GM値)	
		本年	前年比 (%)	本年	前年比 (%)	本年	前年差	本年	前年差
ひとめぼれ 志波姫	4月13日	63.0	140	607	113	8.3	-1.6	39.2	0.5

注：直播栽培展示ほは、令和4年から調査開始のため、平年値はありません。

今後の管理

■出穂期の予想

- ・今後の天候が平年並みで経過すると「ひとめぼれ（北部平坦部（築館））」の出穂期は7月31日～8月6日頃と推測されます。

田植時期	出穂期（推測）
5月5日頃	→ 7月31日頃
5月13日頃	→ 8月2日頃
5月21日頃	→ 8月6日頃

■生育ステージの把握 ～ ほ場ごとに幼穂長を確認して生育ステージを把握しましょう ～

表3 幼穂形成期と減数分裂期の目安

生育ステージ	幼穂長	葉耳間長	出穂前日数
幼穂形成期	1～2mm	—	25～20日
減数分裂期	3～12cm	-10～0cm	15～10日

■追肥 ～ 極端な葉色低下を避けるため追肥を行きましょう ～

- ・極端な葉色低下により玄米品質が低下するので、品種毎に適切な追肥を行きましょう。
- ・有機入り肥料を追肥に使う場合は、肥効が現れるまで時間がかかるので早めに施用しましょう。
- ・一発型肥料を基肥に使用した場合でも、葉色が低下しているほ場では追肥を行きましょう。

表4 追肥時期の生育量と追肥量の目安

*生育量が目安の範囲内～下回る場合に追肥が可能です

品 種	幼穂形成期（幼穂長1～2mm）			減数分裂期（幼穂長3～12cm）		
	茎数 (本/㎡)	葉色 (葉緑素計)	追肥量 (窒素成分) (/10a)	茎数 (本/㎡)	葉色 (葉緑素計)	追肥量 (窒素成分) (/10a)
ひとめぼれ	470～530	38～40	1 kg	450～500	35～37	1 kg
ササニシキ	720～760	34～36	(しない)	550～580	32～34	1～1.5kg
つ や 姫	550～580	35～37	2 kg	-	-	(しない)

★だて正夢の追肥量（窒素成分量/10 a）

- 基本は「**減数分裂期2 kg**」
- 茎数が不足する場合は、
「幼穂形成期1 kg + 減数分裂期1 kg」
- だて正夢は、ひとめぼれ等の他品種より茎数が少なく、葉色が濃くなる傾向にあります。生育量が表の目安を超えている場合を除いて、基本的に追肥を行いましょ。

表5 だて正夢の生育量の目安

項目	幼穂形成期	減数分裂期
草丈 (cm)	64～70	76～82
茎数 (本/㎡)	390～460	380～420
葉色 (葉緑素計)	40～42	37～39

★金のいぶきの追肥量（窒素成分量/10 a）

- 基本は「**幼穂形成期1 kg + 減数分裂期1 kg**」
- 金のいぶきの葉色は、ひとめぼれと比較して淡く推移し、幼穂形成期から減数分裂期にかけて、著しく低下します。安定した収量を確保するために、追肥を実施しましょ。

表6 金のいぶきの生育量の目安

項目	幼穂形成期	減数分裂期
草丈 (cm)	65～70	80～85
茎数 (本/㎡)	570～620	490～540
葉色 (葉緑素計)	33～35	30～32

●水管理

- 幼穂形成期以降の基本的な水管理は右の表のとおりです。

表7 幼穂形成期以降の水管理

生育ステージ	水管理
幼穂形成期	中干し終了→走り水で徐々に入水
～穂ばらみ期	間断かんがい ※倒伏が心配される場合は飽水管理
出穂始～穂揃期	浅水管理
登熟期	間断かんがい※出穂30日後に落水

◎低温時の水管理

- 幼穂形成期～減数分裂期にかけて、日平均気温20℃以下が続く場合、最低気温が17℃以下となる場合は、障害不稔の回避のため、深水とします。

◎高温時の水管理

- 出穂後に高温が続く場合、白未熟粒により品質が低下するおそれがあります。
- 高温時には走り水や飽水管理により、常に土壌を湿潤状態に保ちましょ。

◎落水時期

- 刈取り作業を容易にするため、早めに落水する傾向がありますが、早期落水は米の整粒歩合が低下します。品質向上のため、落水時期は、排水が良好なほ場では出穂後30日を目安にしましょ。

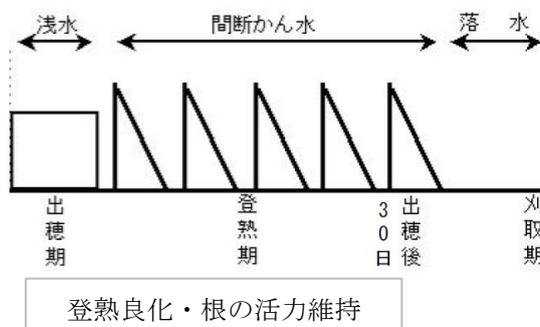


図 出穂後の水管理

